

Lesson 4. 罹患と死亡の指標

§ G. YPLLとQOLの測定

潜在的余命損失年数

YPLL; Years of Potential Life Lost

- 社会に対する疾病死亡の影響力を測定
- ある特定の疾病で死亡した人々が、通常の余命を経験しその疾病により死亡しなかったと仮定した場合に生きられたであろう年数を合計して計算
- 死亡時年齢と死因別死亡率に依存する

例: 米国の65歳前のYPLL

死 因	1990年死亡の YPLL	死因別粗死亡率 1990年
不慮の事故	2,147,094	37.3
悪性新生物	1,839,900	201.7
先天異常	644,651	5.3
脳血管疾患	244,366	57.9
糖尿病	143,250	19.5

QOL ; Quality of Life (生活の質、生命の質)

- 疾病や傷害、治療、その他の結果に影響を受けた人が、自分自身の身体的、感情的、社会的機能をどの程度であると見なしているかの度合い
- 個人の自覚や認識、主観に基づく

QOLの種類

- 疾病関連 Disease-specific、Disease-related
 - 特定の疾患により直接的に関連
 - 変化により敏感でありうる
 - 癌、消化器疾患、喘息、視力障害、糖尿病、関節炎、などのために考案
- 一般 Generic
 - Sickness Impact Profile、SF-36 Health Profile、Nottingham Health Profile、WHO-26、など
 - 機能や症状、一般的健康意識の総体的測定
 - 異なった疾患の影響を比較するのに有用
